

第四章 私訴裁判ノ消滅

私訴ハ公訴ニ附帶シテ提起セラル、モノナルモ私訴權ハ直ニ公訴權ノ消滅ト共ニ消滅スヘキモノニ非ス又之レニ反シテ公訴ハ私訴ノ消滅ニ伴フモノニ非ス各獨立シテ其存在ヲ保ツモノナリ私訴權消滅ノ原因左ノ如シ

第一 拋棄又ハ和解 拋棄ハ權利ノ全部ヲ棄ツルヲ云ヒ和解ハ權利ノ讓歩ヲ爲スヲ云フ公訴ハ之レヲ拋棄又ハ和解スルヲ得ス然ルニ私訴ハ私權ヲ保護スルノ目的ヨリ生ス故ニ當事者ハ自由ニ之レヲ拋棄又ハ和解スルヲ得ヘク又之レニヨリ私訴權消滅スルニ至ル

第二 確定判決 私訴ノ判決確定スレハ私訴權消滅ス

第三 時効 私訴ノ時効ハ公訴ノ時効ト同一ノ期間ニ從フ是レ蓋シ私訴ハ公訴ト同一ノ犯罪ニヨリテ生ス然ルニ公訴權既ニ時効ニ罹リタルニ猶ホ私訴權アリトスレハ是レ公訴權ヲ時効ニ因リテ消滅セシメタルノ主旨ヲ貫徹スル能ハサルノ結果ヲ生スルヲ以テナリ

(一一三)

(一一三)

私訴ノ時効ハ公訴ニ附帶シテ提起シタル場合ノミニ於テ公訴ノ時効ハ同一ナルノミナラス獨立シタル民事訴訟ノ場合ニ於テモ又同シ被害者無能力者ナル場合ニ於テモ時効中斷ノ効ヲ生セス只公訴ニ付キ既ニ刑ノ言渡アリタルトキハ民法ニ定メタル時効ニ從フ(第九條)

公訴ニアリテハ時効ハ之レヲ中斷スルコトヲ得公訴ノ時効中斷セラレタルトキハ私訴ハ公訴ト時効ノ期間ヲ同フスルヲ以テ私訴ノ時効モ中斷セラル、ノ結果ヲ生スヘシ然レトモ私訴ノ時効ハ公訴ノ時効ノ中斷ト獨立シテ之レヲ中斷スル能ハサルヘシ何ントナレハ私訴ノ時効ノ中斷ハ公訴ノ時効ノ中斷トナラス故ニ公訴時効ハ之レニ係ハラス進行ヲ爲スヘク私訴ノ時効ハ公訴ノ時効ニ伴ハサル可カラサルヲ以テナリ

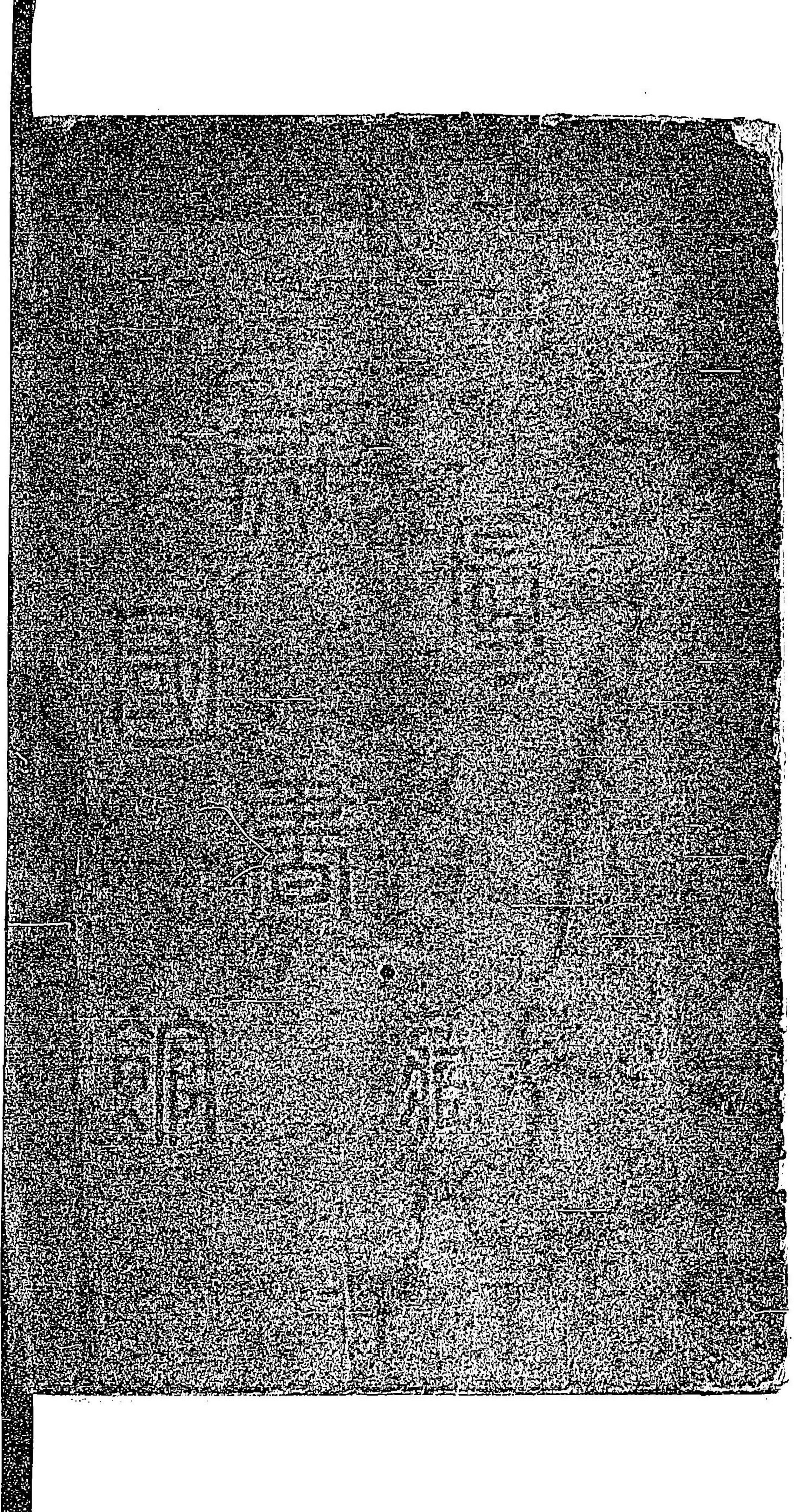
私訴ハ以上ノ原因ニヨリテ消滅ス猶ホ上訴ノ取下ノ場合ニ於テモ判決確定スルニ至ルヘキヲ以テ私訴權消滅ノ結果ヲ生スヘシ然レトモ被告人ノ死亡ハ私訴權消滅ノ原因ト爲ラス即チ其相續人ニ對シテ之レヲ請求スルヲ得ヘキヲ以テナリ併シ私訴權ハ一般ノ法理ニ從ヒ犯罪後頒布シタル法律ニ因ル刑ノ廢止ニヨリテ

160

刑事訴訟法 第七編私訴 第四章私訴裁判ノ消滅
公訴權ト共ニ消滅スルモノトス

刑事訴訟法講義 終

(110) 454 11.11



マ
16口

京都法律大学
刑事訴訟法
新之助

036653-000-4

マ-16口

刑事訴訟法

大滝 新之助/述

[M36?]

BBS-0072



16

京都法政大学
法律部
法律部
法律部

大正新書